

大間原子力発電所計画の現況について

2026年2月25日
電源開発株式会社

ご説明事項

1. 建設工事状況（工事進捗状況）
2. 新規制基準適合性審査の対応状況（全体の流れ）
3. 新規制基準適合性審査の対応状況（プラント審査開始後の規制庁対応）
4. 発電所の安全な運転・運営に向けた取組（運転・保守）
5. 発電所の安全な運転・運営に向けた取組（緊急時対応）
6. おわりに

1. 建設工事状況（工事進捗状況）

総合進捗率 37.6%*

名称	工事内容（2026年1月末現在）	進捗率
土木工事	取・放水設備工事（品質維持対策含む） 敷地造成工事 等	64.7%*
建築工事	主建屋新築工事（品質維持対策含む） 等	38.5%*
機械電気工事	主建屋の機器・配管・電路等設置工事（品質維持対策含む） 等	36.1%*

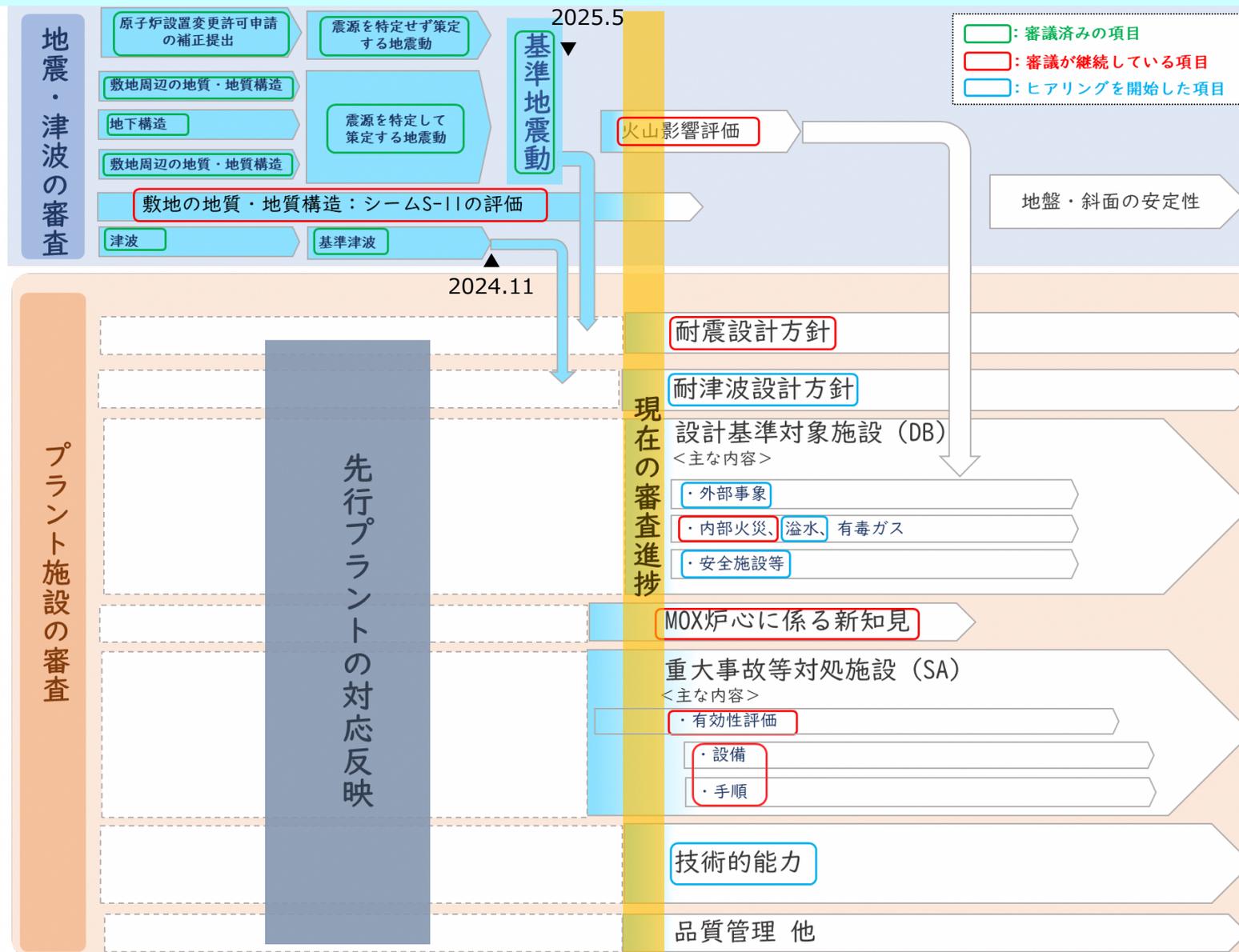
* 総合進捗率及び各工事進捗率は2011年3月20日時点



工事状況写真

2. 新規制基準適合性審査の対応状況（全体の流れ）

- 「基準津波」及び「基準地震動」の審議終了を受け、「プラント施設の審査」を開始



設計及び工事計画認可
設置変更許可

3. 新規制基準適合性審査の対応状況（プラント審査開始後の規制庁対応）

3



- プラント審査開始後、審査会合以外の場合で意見交換等対応

イベント	概要
2025年7月10日 山中規制委員長による 現地視察	<ul style="list-style-type: none">・ シーム S-11、原子炉建屋、上部ドライウエル内構造物の保管倉庫等について確認
2025年7月23日 原子力規制委員会と CEOとの意見交換	<ul style="list-style-type: none">・ 山中規制委員長より、「7月10日現地視察時のシーム説明では、若い方から非常にわかりやすい説明を受け、地盤の専門家ではない私もよく理解することができた」と、若手の活躍、若手の挑戦への期待のメッセージ
2025年10月10日 杉山規制委員による 現地調査	<ul style="list-style-type: none">・ 新規制基準適合性審査の一環として現地調査を実施・ 発電所の安全対策や原子炉建屋の建設状況などについて確認



7/10現地視察（原子力規制委員会 提供）



7/23意見交換（NRA YouTubeより）



10/10現地調査（原子力規制委員会 提供）

4. 発電所の安全な運転・運営に向けた取組（運転・保守）

- 当社社員を電力各社のBWR発電所（柏崎刈羽、女川、東通、東海第二、浜岡、志賀、島根）等に派遣し、技術を習得
- 運転要員の技術の維持・向上のため、サイト内に設置した「運転訓練シミュレータ」において、原子炉の起動・停止操作や異常時の対応、重大事故対応など、運転要員の各種訓練を計画的に実施
- BWR運転訓練センター（新潟県刈羽村）にも当社社員を計画的に派遣
- 保守要員の技術の維持・向上のため、サイト内に設置した「保守訓練センター」において、実機を模擬した設備を使用し、保守・点検の訓練を計画的に実施



運転訓練シミュレータ



保守訓練センター

5. 発電所の安全な運転・運営に向けた取組（緊急時対応）

5



- 計画的に教育訓練を実施し、技術者養成及び技術的能力向上を図る取り組みを継続中
- 各種可搬型設備の取扱いのほか、事故収束対応に関する訓練を継続中

【各種訓練の実施例】

訓練項目	訓練概要
車両走行訓練	構内を大型車両で走行し運転技能を身につける訓練
被ばく・出入り管理訓練	簡易テントを用い、人員の汚染検査、除染を行う訓練
直流電源車取扱訓練	直流電源車のケーブル接続、発電機の起動・停止操作を行う訓練



車両走行訓練



被ばく・出入り管理訓練



直流電源車取扱訓練

- 大間原子力発電所は、
 - ・ エネルギーを不断に提供し、日本と世界の持続可能な発展に貢献するとした企業理念の下で取り組む重要事業の一つです。
 - ・ 安定した稼働が見込める大規模CO₂フリー電源です。
 - ・ プルトニウム（MOX燃料）の利用により原子燃料サイクルの一翼を担う発電所です。

- 安全確保を大前提に、不断の安全性向上に取り組むとともに、一日でも早い安全強化対策工事の開始に向け、引き続き、全社を挙げて原子力規制委員会の適合性審査の対応に取り組んで参ります。

- 今後も皆様の変わらぬご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。